

ALLEN&HEATH



ME 500 パーソナルミキサー ユーザーガイド

Publication AP11137

メーカー保証期間は1年間とします。

Allen & Heath は、材料および製造上の欠陥に対して、オリジナルパッケージ（Allen & Heath 製品）に含まれる Allen & Heath - ブランドのハードウェア製品および付属品を、Allen & Heath のユーザーマニュアル、技術仕様およびその他の Allen & Heath 製品に従って使用された場合、エンドユーザーである購入者（「保証期間」）によって、最初の購入日から 1 年間の期間を定めます。

パッケージ化され Allen & Heath ハードウェアと共に販売された場合でも、この保証は任意 Allen & Heath ブランドのハードウェア製品または任意のソフトウェアには適用されません。

ソフトウェア（以下「EULA」）の使用に関して、あなたの権利の詳細については、ソフトウェアに付随する使用許諾契約書を参照してください。

EULA、保証ポリシーおよびその他の有用な情報の詳細については、ALLEN&HEATH のウェブサイト上で見ることができます：www.allen-heath.com/legal

保証期間の下での修理・交換は、保証期間の延長または更新の権利は提供されません。この保証期間の下での製品の修理または直接交換は、機能的に同等のサービス交換ユニットで行われるかもしれません。

この保証は譲渡することができません。この保証は、購入者の唯一かつ独占的な賠償となり、Allen & Heath もその承認されたサービスセンターのいずれも、いかなる偶発的または間接的損害、またはこの製品のいかなる明示的または黙示的な保証の違反に対する責任を負うものではありません。

保証条件

機器は、意図または偶発的な不正使用、不履行、またはユーザーガイドやサービスマニュアルに記載されている内容、または Allen & Heath により承認された内容以外の変更を対象としていません。

任意の必要な調整、変更、修理は、認可された Allen & Heath の販売代理店または代理人によって行われます。

欠陥のあるユニットは、購入証明書で認可された Allen & Heath 販売代理店に運賃前払いで購入場所に返却されます。出荷前に販売代理店と話し合ってください。返却されるユニットは、輸送の損傷を避けるために、オリジナルのカートンに梱包する必要があります。

免責事項：Allen & Heath は修理または交換されている製品のいずれかの保存 / 保存されたデータの損失に対する責任を負いません。

追加の保証については、お使いの Allen & Heath 販売代理店またはエージェントにお問い合わせください。さらなる情報が必要な場合は Allen & Heath 社にお問い合わせください。

Allen & Heath により承認されない機器の変更や修正は、製品のコンプライアンスとそれを操作するためのユーザーの権限が無効になることがあります。



The ME range of products complies with the European Electromagnetic Compatibility directive 2014/30/EU and the European Low Voltage directive 2014/35/EU.

Any changes or modifications to the product not approved by Allen & Heath could void the compliance of the product and therefore the users authority to operate it.

ME-500 Personal Mixer User Guide AP11137 Issue 1

Copyright © 2017 Allen & Heath. All rights reserved

ALLEN&HEATH

<http://www.allen-heath.com>

使用する前に、以下の注意事項をお読みください



安全について

使用する前に、製品に同梱されているAllen & Heath のWeb サイトからダウンロードできる**重要な安全上の注意事項**をお読みください。オペレーターなど利用者の身の安全を確保するために、すべての指示に従い、シート上や機器パネルに記載されたすべての警告をお読みください。



Sound levels

この製品は、聴力に害を及ぼす可能性のある大きい音量を発生することができます。ヘッドフォンの使用中に聴力障害の危険性を避けるために、イヤホンやスピーカーで大きな音量での長時間の使用はご遠慮ください。ME-500ミキサーはリミッター機能を備えており、最大値を超えるレベルを防ぐことができます。



一般的な注意事項

- ミキサーは直置きでの使用、またはマイクスタンドへ直接取り付けるか、付属のブラケットを使用して取り付けられるように設計されています。マイクスタンドを使用するときは安定させ、転倒または、けがの原因にならないようにしてください。つまり危険を避けるためのケーブル配線がなされていることを確認してください。
- ミキサーの損傷を防ぐため、落としたり、コントロールサーフェイスに物を置いたり、鋭利なもので表面や画面を傷つけたり、操作および輸送中に乱暴な取り扱いや振動を与えたりしないでください。
- 液体やほこりによる損傷から機器を保護してください。ミキサーを長期間使用しないときはカバーしてください。
- コンピューターやスクリーンは、極端な暑さや寒さの影響を受ける可能性があります。装置が氷点下に保たれる場合は、会場で使用する前に常温に戻す時間をおいてください。推奨動作温度は5 ~ 35°Cです。
- 柔らかいブラシや乾いた布でサーフェイスを清掃してください。化学薬品、研磨剤や溶剤の使用は避けてください。
- サービスはAllen & Heath に認定された代理人のみで行われることが推奨されます。修理品を返送する前にデータを保存してください。Allen & Heath は認定外によるメンテナンス、修理、改造による損傷、またはデータ損失の責任を負いません。

動作ファームウェア

ME-500 ミキサーの機能は、動作ファームウェアによって決まります。ファームウェアは新しい機能が追加または改良されたときに更新されます。利用可能な最新バージョンについては、Allen & Heath のWeb サイトを参照してください。ダウンロードし、USBキーに転送してからミキサーに読み込むことができます。

ソフトウェア使用許諾契約書

このAllen & Heath製品とそのソフトウェア(ファームウェア)を使用することにより、関連するエンドユーザー使用許諾契約書(EULA)の条項に拘束されることに同意したものと見なされます。この契約書のコピーはAllen & HeathのWebサイトに掲載されています。

www.allen-heath.com/legal

1. 目次

1. 目次	4
2. 概要	7
3. フロントパネル	8
4. リアパネル	9
5. ME-500インストール.....	10
5.1 ユニットの取り付け.....	10
5.2 Cat5 ケーブル.....	10
5.3 Ethernet PoE Switch.....	10
5.4 オーディオ接続	11
6. ME-500の使用	12
6.1 電源のオン/オフ	12
6.2 ディマー	12
6.3 スタンバイ.....	12
6.4 チャンネルをキーにマッピングする.....	12
6.5 ディスプレイ	13
6.6 マスターレベルの調整.....	13
6.7 チャンネルの操作	13
6.8 マスターの操作.....	13
6.9 出力リミッターの設定	13
6.10 すべてのレベルをト.....	13
6.11 ME-500 プリセット	14
6.12 USB プリセット転送	14
6.13 プリセットのリコール.....	14
6.14 プリセットの保存	14
6.15 すべてのミックス設定のクリア	14
6.16 ハードリセット	14
6.17 仕様	15

さらに詳しい情報

詳細情報、知識ベースおよび技術サポートについては、Allen&Heath のWeb サイトを参照してください。Allen&Heath デジタルコミュニティに参加して、他のME-1 ユーザーと知識や情報を共有することができます。

梱包内容

ME-500 パーソナルミキサー

本ミキサー



ME ミキサー用パワーサプライ

ユニバーサル電源ユニットが設けられており、4種類のワールドワイドプラグアダプタを選択できます。アダプタは電源ユニットにはめ込めます。

AM10314



使用前の注意事項 AP9241/CL2-1

Note ご使用前にお読みください。

ユーザーガイド

本ユーザーガイド AP11137

Note Cat5リンクケーブルは付属していません。アプリケーションの要件を満たす適切な長さのソースケーブルの詳細については、後に説明します。

アクセサリ

マイクスタンド用取付ブラケット

ミキサーには、マイクスタンドの上部に取り付ける3/8インチのネジ穴があります。

マイクスタンドの側面に取り付け可能なブラケットもあります。

オーダーコード AB8999



ヘッドフォンホルダー

ヘッドフォンやイヤープースを掛けるためのミキサーの下側取付フック。

オーダーコード AB8705



Cat5 イーサコン付きコネクタ

以下のケーブルが Allen & Heathにて利用可能です:

AH9997 2m (6.6') ショートパッチ

AH9651 20m (66') コイル

AH9650 100m (330') ドラム



ME Range

ME-500 パーソナルミキサー

スタンダードモデル (本ユーザーガイド):

- 最大16 モノ/ステレオチャンネル
- 自動キーアサイン
- マスターリミッターと2バンドEQ
- 8 ユーザープリセット



ME-1 パーソナルミキサー

プレミアムモデル:

- 最大40チャンネル
- ユーザーアサインキー
- マスターリミッターと3バンドEQ
- 16 ユーザープリセット
- グループファンクション
- ネームディスプレイ
- 3.5mm ジャック Aux インプット
- 内蔵型アンビエントマイク
- 内蔵型 シグナルジェネレーター
- スタンドブラケット付き ヘッド
- フォンフック付き



ME-500とME-1ミキサーは同じMEシステム内で組み合わせることができます。

ME-U Hub

PoEハブ:



- ME-500 と ME-1に接続
- 10 ポート
- 接続を増やすためのハブリンク
- PoE Cat5リンク
- スタンダードインプット:
ME / ACE / dSNAKE
- オプションカード:
Dante / MADI / Waves / ES
- 設定用ネットワークポート

Input Option Cards



2. 概要



ME Personal Mixing Systemへようこそ。このシステムは柔軟で簡単に操作できるソリューションで個々のミュージシャン、パフォーマー、プレゼンターが、ステージ上、礼拝所、リハーサル室、スタジオ、カンファレンス、ライブイベントなど、各自のモニターサウンドを制御できます。

ME-500は独立型デジタルパーソナルミキサーで、ミキサーから単一のCat5ケーブルを介して最大16のモノラルまたはステレオソースを受け、ヘッドフォン、イヤホン、またはローカルスピーカーに独自にミキシングできます。

MEはAllen&Heathデジタルミキサーで動作する48kHzシステムです。適切な入力カードを装着したME-Uハブを追加すれば、48kHzのサードパーティ製機器でも動作します。

ME-500は、機能性の高いME-1プレミアムモデルを搭載したスタンダードモデルです。任意の数のMEミキサーをシステムに接続できます。

MEミキサーには、ユニバーサル電源装置が付属しています。あるいは、標準のPoE(Power over Ethernet)スイッチまたは10ポートのAllen&Heath ME-U PoEハブを使用して、Cat5入力ケーブル経由でミキサーに電力を供給することもできます。

用途に合った設計

- コンパクトでスマート
- 見やすいディスプレイ
- 暗闇でも見えるバックライトキー
- サーフェイス、直置、またはマイクスタンドへの取付可能
- スタンド取付可能なネジ穴付
- スタンドブラケット付属
- ヘッドフォンフック付属

ミュージシャンに合った簡単操作

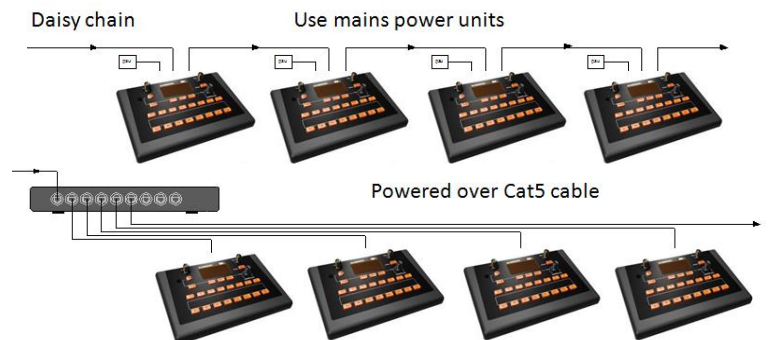
- 選択キーを押します。
- ロータリーを回してレベルを調整します。
- パンを押して回転し、画面移動を調整します。
- Shiftキーを押しながら回転させ、全レベルがトリミングを調整します。
- 個々のチャンネルやマスターをミュートします。
- 個々のチャンネルをソロします。
- マスターEQを使ってトーンを調整します。
- リミッターを使用してピークを防止します。
- ミックスのプリセットをストア、リコールします。
- 離席中にスタンバイモードを使用して保護します。

システムのコンフィグ

- コンソールでアウトプットをパッチします。
- シングルキーステレオセレクト用のリンク出力です。
- ラベルストリップを使用してキーを識別します。
- USBキーで設定を転送します。
- USBキーを使用したファームウェアの更新します。

便利な接続

- CAT5ケーブルで最大100mまで接続可能です。
- EtherCON付きコネクタ
- 任意の数のMEミキサーをデジチェーン接続できます。
- Ethernetスイッチを使用したパラレル接続可能です。
- A&Hミキサーに直接接続します。
- Aviom®A-Net16への直接接続できます。
- ME-Uハブを介して他のネットワークに接続できます。
- 48kHz Dante, MADI, EtherSound
- Cat5ケーブルを介して電源ユニットまたはPoEを使用します。
- ME-U PoEハブ10ポート



3. フロントパネル

Shift key – 押したまま:

Master = アウトプットリミッター
Rotary = 全レベルのトリム
Recall = プリセット保存
Solo = 明るさを切り替え
Mute = Enter/exit スタンバイ
Key16 = ファームウェアバージョン

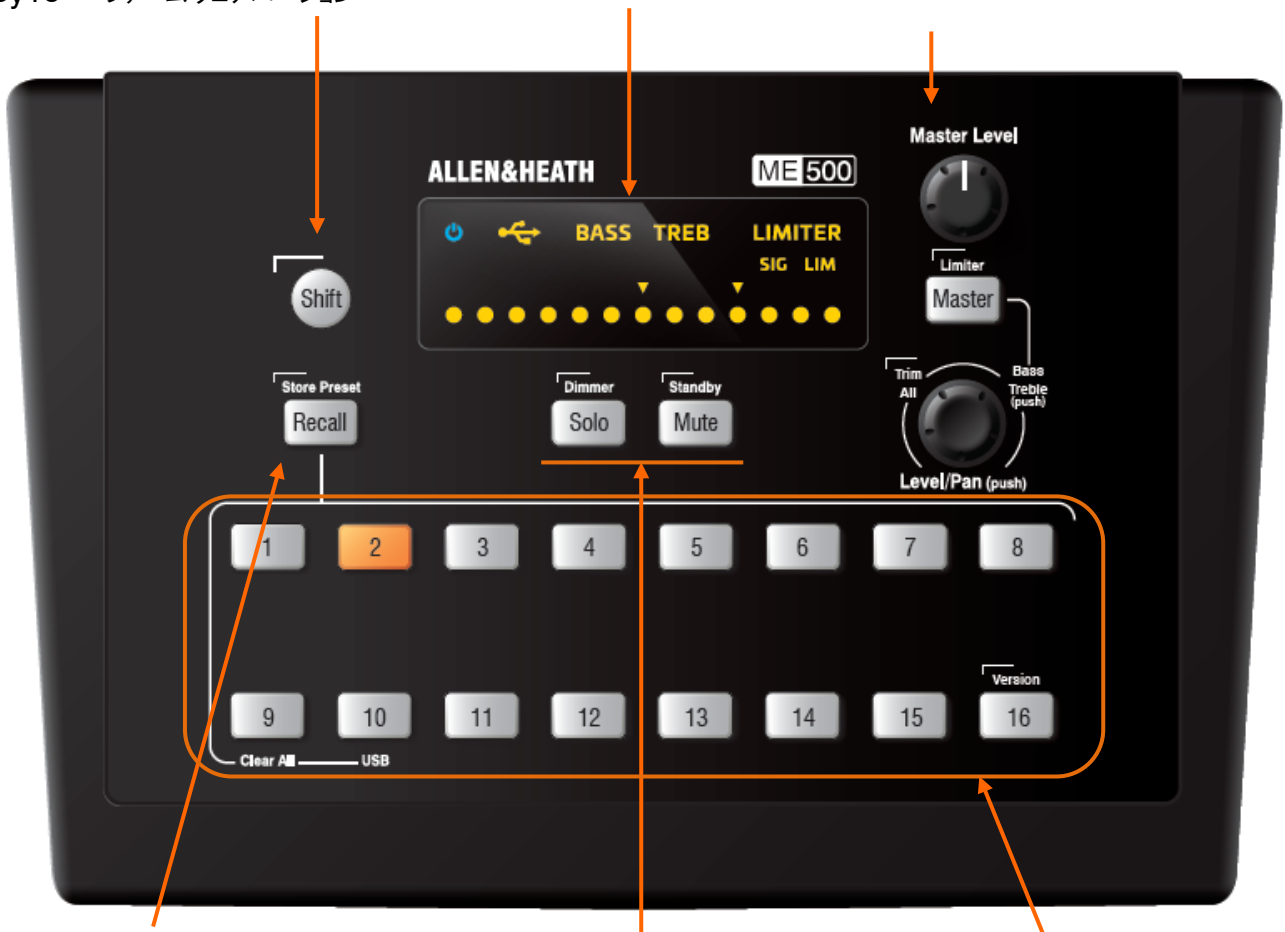
Screen – 選択したチャンネルのレベルとパンの設定、出力EQとリミッターの設定、USBの状態、信号表示を表示します。

Shift+Solo dimまたは明るさを調整します。

Master Level – 全体のミックスレベルを調整します。

Master Key – 押して出力EQにアクセスし、ロータリーを回してブースト/カットします。ロータリーを押すと低音と高音が切り替わります。

Shift+Master リミッタースレッシュホールドを調整します。



Preset Recall key

プリセットを呼び出すには、セレクトキーを押したままにします。

Key1-8 = ユーザープリセットより
Key9 = ミックス設定のクリア
Key10 = USBキーより

Preset Store mode

Shift+Recallを押しながら選択キーを押すと、現在のレベル、パン、ミュートの設定が保存されます。

Key1-8 = ユーザープリセットへ
Key10 = USBキーへ

Solo key

ソロモードに入り、選択したチャンネルだけを聞くときに押します。押し続けると一時的にソロになります。ソロは活動中に点滅します。

Shift+Soloでディスプレイの明るさを切り替えます。

Mute key

選択したチャンネルをミュートするときに押します。ミュート状態ではキーが赤く点灯します。キーが点滅して、ミュートされているチャンネルが示されます。

Shift+Mute を押すと、スタンバイモードに入ります。

Select keys

16キーのいずれかを押して、レベルの調整、パン、ミュート、チャンネルのソロ化を行います。チャンネルがミュートされているときは、フラッシュが点灯します。

プリセットストアやリコール、ミックスクリアにも使用します。

Shift+Key16キーを押してファームウェアのバージョンを表示し、USBを使用してアップデートします

Rotary

回してレベルを調整します。押して切替え、パンを調整します。EQやリミッターの調整にも使用します。

4. リアパネル

Phones

3.5 mmミニジャックと1/4インチTRSステレオジャックを使用して、1つまたは2つのヘッドフォンやイヤホン、またはワイヤレス・インイヤードランスミッターなどのステレオ・ラインレベル機器を接続します。

Tip=Left, Ring=Right.

Mono Out

バランス型TRSジャックで、パワードスピーカーやドラムなどのモノラルラインレベル機器に接続します。

出力は、LRミックスのモノラルサムです。

Tip=Hot, Ring=Cold

USB port

ME-500ミキサー間でのデータ転送やパソコンへのバックアップに使用します。

プリセットは、USBデバイス上のME500PSTフォルダにPRESET.ME5という名前のファイルとして保存されます。

ME-500動作中のファームウェアのアップデートにも使用します。



Link Out

Cat5 EtherCONケーブルで接続しデジチェーン接続時に次のMEミキサーにオーディオ送ります。

リンク出力はPoE電力を伝送しません。デジチェーン接続されたミキサーには、外部電源装置から電力が供給されます。

Link In

Cat5 EtherCONケーブルを接続します。

ME互換のAllen&Heathコンソールに接続すると最大32チャンネル、Aviom®A-Net16に接続すると最大16チャンネルのオーディオおよびステレオリンク情報を受信できます。

ミキサーは、PoEスイッチまたはME-Uハブに接続されている場合、Cat5リンクを介して電力を受け取ることができます。

DC In

外部PSU(電源)入力です。MEミキサーに付属の電源ユニットのDCケーブルを差し込みます。

Note

パワーサプライのみを使用してください。ENG Electric6A-161WP12 (A&H パーツコードAM10314) あるいは、PoE(Power over Ethernet)スイッチまたはME-Uハブに接続されている場合は、Link In Cat5ケーブルを介してミキサーに電力を供給することもできます。

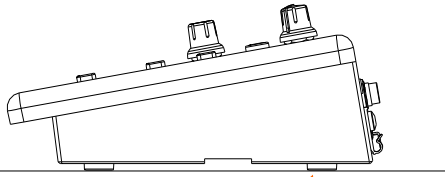
Monitor Link 専用のAllen&HeathイーサネットベースのCat5接続で、コンソールからMEパーソナルモニタミキサーに、40チャンネルの48kHzデジタルオーディオおよびステレオリンクデータを送信します。

ME-1 CH1-40を使用します。チャンネルは任意の順序でキーに割り当てることができ、ME-1でモノラル、ステレオまたはグループ設定できます。

ME-500 ME-500は、コンソールでステレオにリンクされているチャンネル数に応じてCH1-32が使用されます。CH1から始まる16個のキーにチャンネルが自動的に割り当てられます。

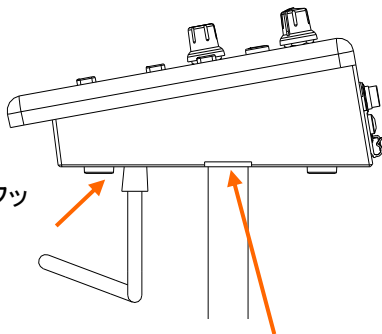
5. ME-500

5.1 ユニット取り付け



サーフェイス - 滑り止め付き

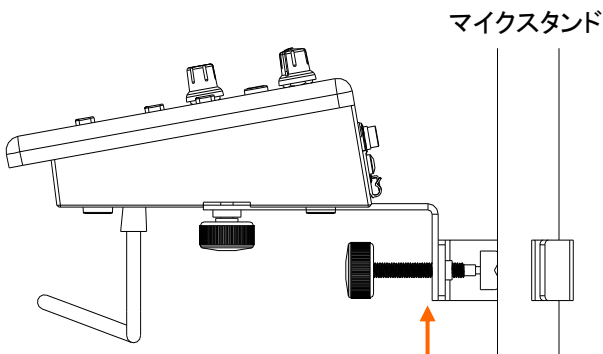
Note 高温の機器の近くに置かないでください。



ヘッドフォンフック挿入口 (オプション)

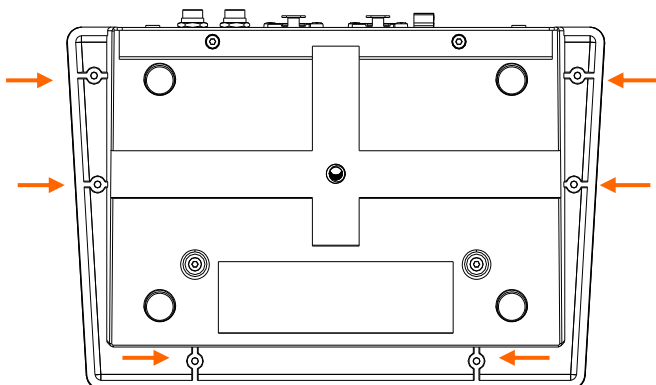
マイクスタンド挿入口 - 3/8"

Note マイクスタンドが安定していることを確認してください。

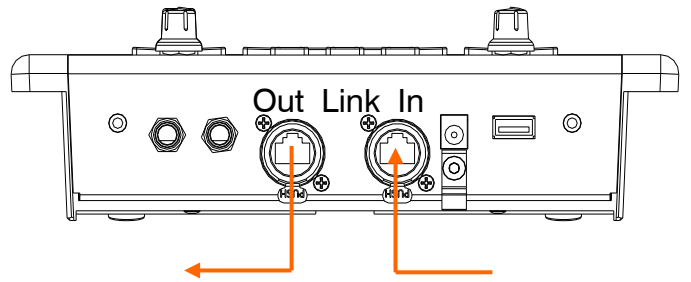


スタンド取り付け側 - ブラケット(オプション)

台座またはパネルマウント - 6B ねじ穴



5.2 Cat5



STP(シールドツイストペア)CAT5e以上のケーブルを使用します。スタンダードコアケーブルは、よじれたり度重なる使用による損傷をうけにくくします。

ME-500は、Neutrik EtherCONソケット (ロック付き)ケーブルの接続をお勧めします。

最大長さ = 100m (330')



5.3 Ethernet PoE Switch

オーディオと電源を複数のMEミキサーに並列接続するには、標準の既製のイーサネットPoE付きスイッチまたは10ポートAllen & Heath ME-Uハブを使用してください。



100 Mbit /s (ファーストイーサネット) をサポートするレイヤー2 アンマネージドスイッチを使用します。

Note レイヤー3または4のプロトコルは、オーディオのクリックまたは中断を引き起こす可能性があります。

Note Aviom® A-Net 16は、標準のイーサネットスイッチと互換性がありません。

PoE (Power over Ethernet) - 2つの標準802.3af (ソースで15.4W) または802.at (ソースで25.5W) のいずれかが適しています。全体の電力定格が、接続するすべてのMEミキサーに電力を供給するのに十分であることを確認してください (ミキサーごとに15Wを許可します)。

5.4 オーディオ接続

Stereo Headphones

2つの出力ソケットを使用して、大型(1/4インチ)または小型(3.5 mm)のステレオプラグでヘッドホンやイヤホンを接続できます。16Ω~600Ωのインピーダンスのヘッドホンをおすすめします。低インピーダンスのヘッドホンほど音が大きくなります。

たとえば、2人のミュージシャンに同じミックスを与える場合などは、どちらかのソケットまたは両方を同時に使用できます。

Stereo line equipment

ステレオ出力を使用して、録音装置やワイヤレス・インイヤードランスミッターなどのラインレベル機器に信号を送ることができます。

最大ライン出力レベル=+21dBu。

ME-500は左右の信号を同じTRS(3極ステレオ)出力端子に出力します。ステレオ信号は大小の出力ソケットで二重化されます。

ステレオケーブルを使用して、左右別々の入力を機器に供給します。

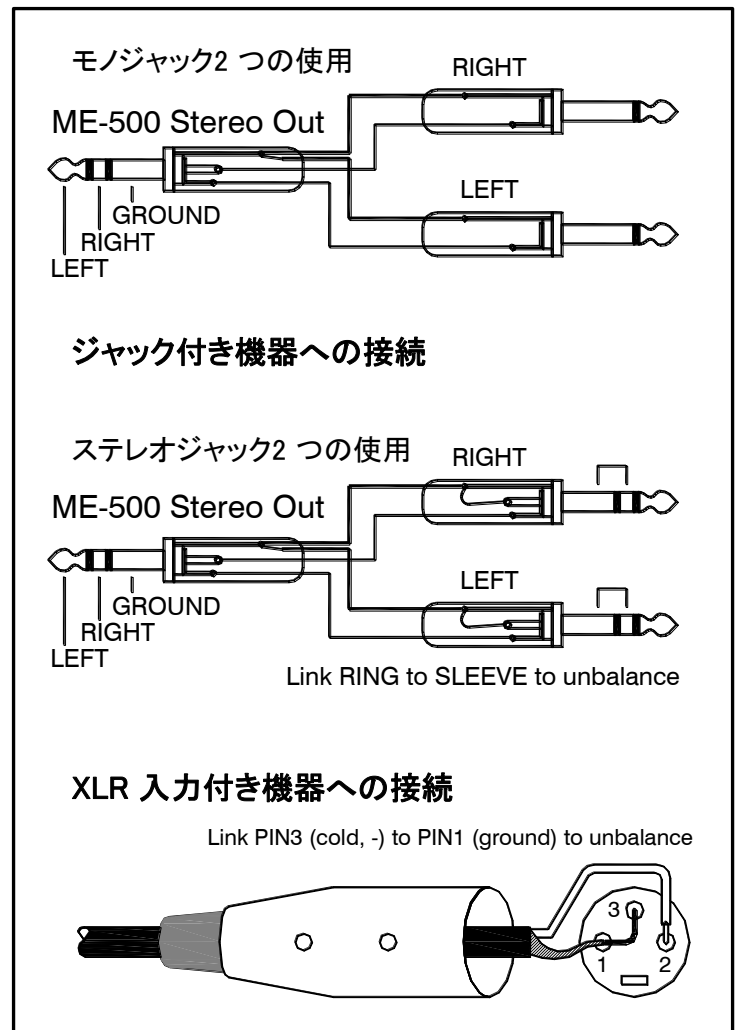
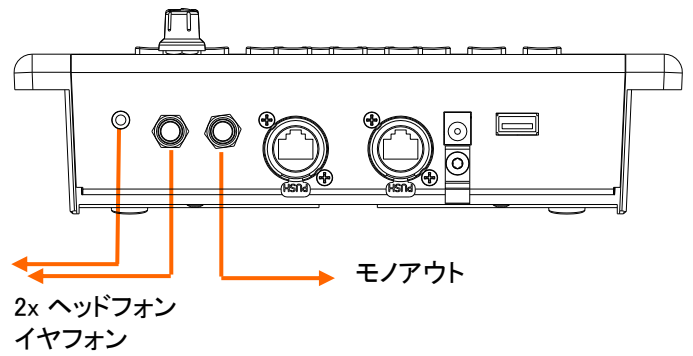
出力がアンバランスである。バランス型機器に接続するには、宛先プラグ内で入力コールド(-)信号を接地します。

Mono output

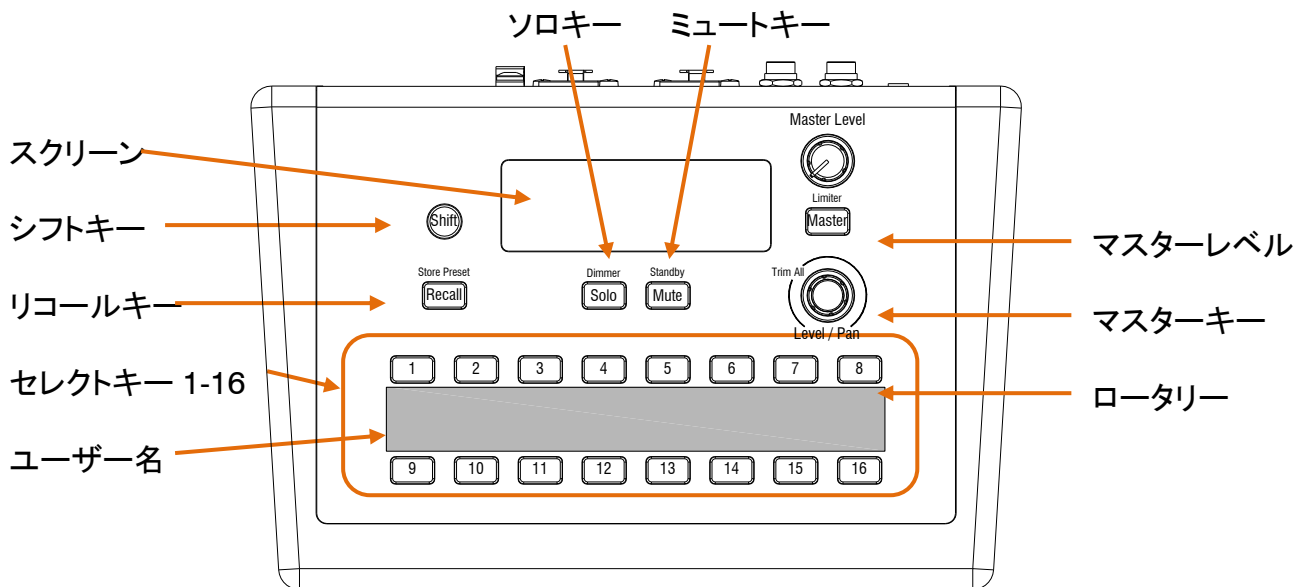
パワースピーカーなどのバランス型またはアンバランス型のラインレベル機器を出力することができます。

Warning

スピーカーを使用する場合は、フィードバックの原因となるような大きな音量にならないように注意してください。マスターレベルを下げてから徐々にレベルを上げていきます。



6. ME-500使用方法



6.1 電源のオン/オフ

To turn the mixer on - ミキサーをオンにするには- 外部電源ユニットをDC入力ソケットに差し込むか、PoEスイッチまたはME-Uハブをリンク入力ソケットに接続してPoE (Cat5ケーブル経由で給電)を使用します。青色の電源インジケータが点灯します。ME-500は、以前の設定が復元され、何も選択されていない状態で起動します。

Note ミキサーがデジチェーン接続されている場合、リンク出力ソケットからPoEを使用することはできません。

To turn the mixer off - ミキサーをオフにするには- PoEを使用している場合は、DCケーブルまたはリンク入力ケーブルを取り外します。

Note チェーン内の他のミキサーがリンク出力ソケットからデジチェーン接続されている場合は、電源を切るとオーディオがオフになります。

6.2 デイマー

Shift + Soloを押して、画面とキー光度を変更します。

6.3 スタンバイ

ミキサーから離れるときは、スタンバイモードを使用してください。コントロールがロックされ、オーディオがミュートされます。Shift+Muteキーを押してスタンバイモードに入ります。もう一度両方のキーを押して終了します。

6.4 チャンルをキーにマッピングする

Source patching - ソースパッチ-ソースコンソールの出力パッチページを使用して、オーディオおよびステレオリンク情報をMEミキサーに送信します。手順については、コンソールのユーザーガイドを参照してください。

入力チャンネル、グループ出力、ミックス出力の任意の組み合わせを40のMEモニターチャンネルにパッチすることができます。ME-500は、ステレオ操作のためにリンクされているチャンネル数に応じて最大32チャンネルを使用します。

Input channel source - インputチャンネルのソース-インputチャンネルのダイレクト出力を、ポストEQ、ポストミュート、プリフェーダーに設定することをお勧めします。つまり、モニターのセンドはコンソールチャンネルのEQとミュートの影響を受けますが、FOHミックスフェーダーの影響は受けません。

Stereo links - ステレオリンク-ソースコンソールの出力パッチページで、奇数/偶数のチャンネルペアをリンクしてステレオ操作を行うことができます。

ME key assignment - MEキーアサイン- 16個の選択キーは、CH1から始まる受信したMEモニターチャンネルに自動的に割り当てられます。奇数/偶数のリンクされたチャンネルのペアが単一のキーに割り当てられます。

Note MEミキサーの電源が入っているときにステレオリンクを変更すると、CH1から始めて上下にキーが再割り当てされます。

User label - ユーザーラベル-モニターパッチとステレオリンクを設定したら、提供されたスペースを使用して16個のキーにラベルを付けることができます。

6.5 ディスプレイ



ディスプレイには、ロータリーによって制御されているパラメーター(レベル、パン、ベース、トレブル、リミッタースレッショルド)が表示されます。

オーディオ信号のアクティビティを示すSIGライト:

緑 = -40dBの信号の有無

オレンジ = +3dB通常レベル

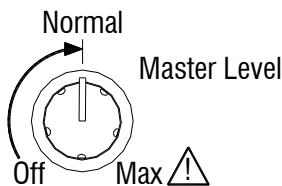
赤 = クリッピング前のピーク +3dB

LIMはリミッターが作動しているときに点灯します。

USBデバイスが認識されると、USBライトが点灯します。

6.6 マスターレベルの調整

出力音量を調整します。最小レベルから始めます。最適なメーター値を得るためにソースを調整し、快適なリスニングレベルを得るためにロータリーを上げます。一般的な設定は中間位置付近です。



6.7 チャンネルの操作

選択キーを押してチャンネルを操作します:

Level – ロータリーを回します。バーには、オフから+10 dBブーストまでのレベルが表示されます。ポインターには、ミックスのメインソースの通常の設定である0 dBレベルが表示されます。

Pan – ロータリーを押しながら回転させ、左右のバランスを調整します。ポインターは中間位置を示します。

Mute – Muteキーを押して、チャンネルのオン/オフ(ミュート)を切り替えます。セレクトキーが点滅し、ミュートされているチャンネルが表示されます。

Solo – ソロ(Solo)キーを押して、選択したチャンネルだけを聞きます。ソロがアクティブなときは、キーが点滅します。1秒以上押すとモーメンタリになります。

6.8 マスターの操作

マスターキーを押して出力を操作します:

Mute – Muteキーを押して、ミックス出力のオン/オフを切り替えます。

Bass – ロータリーを回転して、低周波数(BASS)を最大15 dBブーストまたはカットします。


Treble – ロータリーを押して、低音と高音を切り替えます。高周波(TREB)を最大15 dBブーストまたはカットします。

6.9 出力リミッターの設定

リミッターは、ユーザーが設定した最大レベルを超える出力ボリュームを防止することにより、耳を保護します。

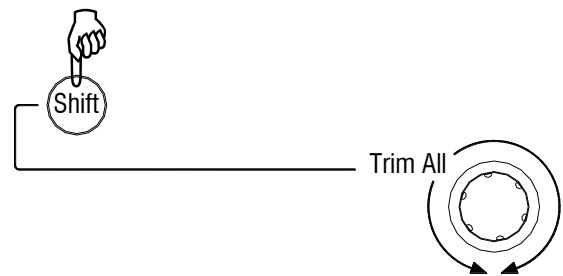
Shift + Masterを押してリミッターにアクセスします:

Threshold – 出力を必要な最大音量に設定し、LIMインジケーターが点滅し始めるまでロータリーを回します。

 **Warning** 聴覚に損傷を与えるおそれがあるため、長時間大音量で操作しないでください。

6.10 すべてのレベルをトリミングする

Shiftキーを押しながらロータリーを回すと、すべてのレベルを同時に上下に調整できます。



SIGが赤く点滅した場合、すべてのトリムを使用してホットミックスを減らし、低いメーター値でミックスを再生したり、すべてのレベルをオフにします。

Note 最高レベルのソースが最大に達するか、最低レベルのソースが最小に達すると、ミックスバランスが変化します。ソース間の相対的なバランスを維持する場合は、[すべてをトリム](Trim All)を慎重に使用して微調整します。

6.11 ME-500 プリセット

ME-500には最大8つのプリセットをストア/リコールできます。

すべてのチャンネルレベル、パン、ミュートを保存します。マスターEQとリミッターの設定は保存されません。Key 1-8を使用して、プリセットをミキサーに保存します。

Key 9を使用すると、すべてのミックス設定を即座に消去できます。

6.12 USB プリセット転送

ME-500ミキサー間で設定を転送したり、USBデバイスを使用してコンピューターに保存することができます。すべてのチャンネルレベル、パン、ミュートを転送します。

Key 10を使って設定をUSBに保存します。

有効なデバイスが認識されると、USBアイコンが点灯します。デバイスに問題がある場合は点滅します。



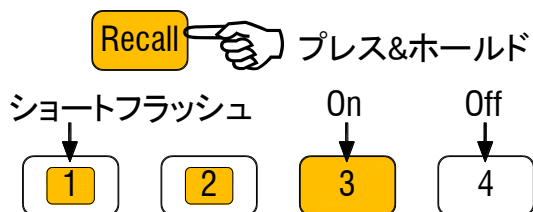
設定は、USBデバイスのME 500 PSTフォルダにPRESET.ME 5という名前のファイルとして保存されます。設定は、USBデバイスのME 500 PSTフォルダにPRESET.ME 5という名前のファイルとして保存されます。

Note ME-500プリセットとME-1プリセットには互換性がありません。

Note プリセットに名前を付けることはできません。USBファイルの名前は変更しないでください。

6.13 プリセットのリコール

リコールを押し続けます。[Select keys] が点灯し、プリセットステータスが表示されます：



Off - プリセットは使用できません。

On - 最後に呼び出されたプリセット

Short flash - プリセットを呼び出すことができます。

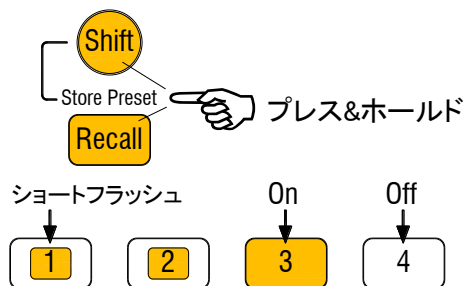
リコールを押しながらSelectキーを押すと、プリセットがリコールされます。現在のミキサー設定がプリセットの内容で上書きされます。

Key 1-8を使用してミキサプリセットを呼び出します。

USBから設定を呼び出すときは、Key 10を使用します。

6.14 プリセットの保存

Shift + Recallを押したままにします。選択キーが点灯し、プリセットのステータスが表示されます：



Off - プリセットは使用できません。

On - 最後に呼び出されたプリセット

Short flash - プリセットを保存可能Shift+Recallを押しながらSelectキーを押すと、現在の設定がプリセットに保存されます。

Key 1-8を使用してミキサプリセットを保存します。

Key 10を使って設定をUSBに保存します。

6.15 すべてのミックス設定のクリア

Recallを押しながらKey9を押すと、すべてのチャンネルレベル、パン、ミュート、ソロが即座にクリアされます。マスターEQ、リミッター、保存されているプリセットは影響を受けません。

6.16 ハードリセット

ハードリセットは、すべてのミックスとマスターの設定をクリアし、保存されているすべてのプリセットをクリアすることにより、ミキサーを工場出荷時のデフォルトに戻します。

ハードリセットを実行するには：

ミキサーをオフにします。

Shift + Recall + Masterキーを押したままミキサーの電源を入れ、5秒後にキーを離します。

6.17 ファームウェアバージョン

ME500ファームウェアには番号が付けられています

バージョン1.23:

- 1 = **major** version
- 2 = **minor** version
- 3 = **maintenance** version

現在のミキサーのバージョンを確認するには、USBデバイスが接続されていないことを確認します。

USBデバイスのバージョンを確認するには、まずプラグインします。

画面にメジャーバージョンを表示するには、Shiftキーを押しながらKey16を押します。

Shiftキーを押しながら再度キー16を押して、マイナーバージョンを表示します。

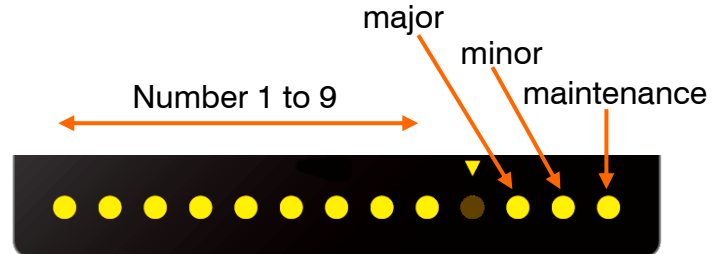
もう一度押すと、メンテナンスバージョンが表示されま

す。



Off = ミキサーバージョン
On = USBバージョン

右側のドットはメジャーバージョン、マイナーバージョン、またはメンテナンスバージョンを示します。左側のドットには番号が表示されます。



6.18 ファームウェア更新

Allen&HeathのWebサイトで、ファームウェアの最新バージョンを確認します。ダウンロードしてUSBキーでMEミキサーに転送できます。

アップデートを開始するには、Shift+Key 16キーを押しながらロータリを押して離します。

詳細については、Webサイトのリリースノートと手順を参照してください。

6.19 仕様

Stereo Out – ステレオ $\frac{1}{4}$ "、3.5mmジャック:

Headphones > 16 Ω , power 300+300mW into 100 Ω load, or line out max +21dBu

Mono Out – バランスTRS ジャック, ノーム 0dBu, max +18dBu

Residual Output Noise - -95dBu (level min)

Freq Response - +0/-1dB 10Hz to 20kHz

Mains Power Unit – 100-240V AC 50/60Hz, +12V DC 1.25A out

PoE Requirement – 10W at ME-500 (推奨 15W at PoE hub)

Dimensions – Width x Depth x Height

225 x 150 x 55mm

Weight – 900g

